

# 丹後府中の文化財

2011.2

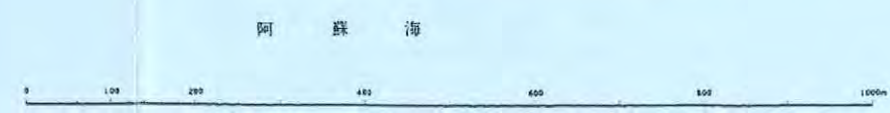
京都府立丹後郷土資料館





# 天橋立から府中を歩く 歴史散歩マップ

- 寺社
- 名勝、名所・旧跡
- 遺跡・小字名  
(現存しない建物や構造物)
- 施設、公園
- 古道、古道跡
- 雪舟筆「天橋立図」に  
文字の書き込みがある場所
- 雪舟筆「天橋立図」に境内・建物等が  
描かれている場所







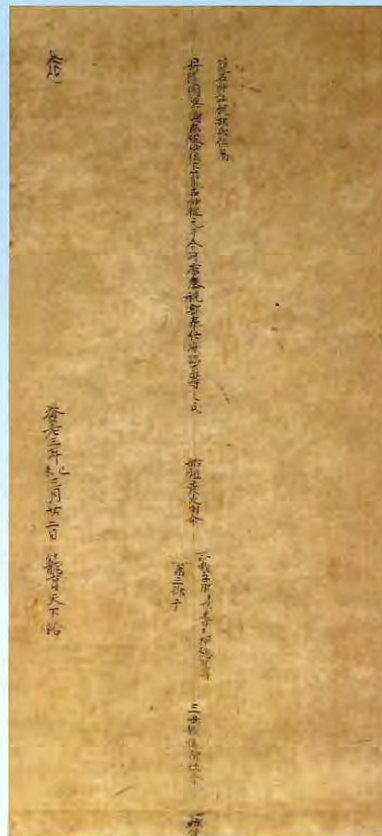
滑石製勾玉・土製勾玉・紡錘車・有孔円盤・水晶 難波野遺跡 4世紀  
 多量の土器類とともに神に供えられた祭祀遺物。天橋立の付け根で、海の神を鎮める祭りが執り行われたことを示す。



蓮華文軒丸瓦 丹後国分寺跡 奈良時代



唐草文軒平瓦 中野遺跡 奈良時代  
 奈良時代の瓦が出土することから、中野遺跡は丹後国分尼寺推定地の一つに数えられている。  
 (宮津市教育委員会写真提供)



あまべしげいず 海部氏系図  
 籠神社宮司海部氏蔵 平安時代 国宝  
 籠神社の宮司家に伝わる家系図。始祖彦火明命から連続と続く直系の子孫を書き連ねた繫系図。



銅製経筒・銅鏡 籠神社経塚 平安時代 重要文化財  
 右の経筒には、文治四年(1188)の年号が線刻されている



もっかん 木簡 難波野遺跡 平安時代  
 書類などを巻く心棒と推定される木片の表面に、寛治五年(1091)と墨書されている。



しっくい 漆器椀 難波野遺跡 鎌倉時代  
 黒漆塗りの上に朱漆で花文を描く。



とうじき 土師器 中野遺跡 鎌倉時代  
 中野遺跡からは土師器などの日常雑器類のほか、当時としては高級品であった中国製陶磁器類が数多く見だされている。この地が中世丹後国の中心地であったことを物語る。  
 (宮津市教育委員会写真提供)



ぼくしょどき 墨書土器  
 今熊野城跡 戦国時代  
 土師器皿の外面に墨書する。今熊野城跡は、丹後守護一色氏の居城と言われており、この資料も一色氏関連のものと推定される。  
 (宮津市教育委員会写真提供)



こまいぬ 狛犬 籠神社 鎌倉時代 重要文化財  
 額が低く、愛嬌のある扁平な顔をした、丹後狛犬の代表例である。籠神社神門の前に鎮座する。

### 丹後遺跡めぐりシリーズ③ 丹後府中の文化財

平成23年2月19日発行  
 編集・発行 京都府立丹後郷土資料館  
 〒629-2234 京都府宮津市国分小字天王山611-1  
 TEL0772-27-0230 FAX0772-27-0020